

厚生労働省
群馬労働局発表
令和7年5月2日

【照会先】
群馬労働局労働基準部健康安全課
課長 穂積 常之
主任地方産業安全専門官 木村 正義
(電話) 027-896-4736

報道関係者 各位

令和6年の労働災害発生状況について（確定）

－ 死亡者数は減少・死傷者数は増加 －

群馬労働局（局長 うえの やすひろ 上野康博）は、令和6年（確定値）及び令和7年3月末（速報値）の労働災害発生状況について、以下のとおり取りまとめを行いました。

【労働災害発生状況の概要】

1 令和6年 労働災害発生状況

(1) **死傷者数** (※1) **2,646人** 前年比 **50人(1.9%)増加**

《前年と比較した主な特徴》

① 業種別

- ・死傷者数の多い主な業種
製造業 788人、運輸交通業 358人、商業 353人、保健衛生業 315人
- ・死傷者数の増加した主な業種
接客娯楽業 53人 (39.6%)、運輸交通業 36人 (11.2%) 増加
- ・死傷者数の減少した主な業種
建設業 45人 (18.0%)、商業 37人 (9.5%) 減少

② 事故の型別

- ・死傷者数の多い主な事故の型
「転倒」666人、「動作の反動・無理な動作」455人、「墜落・転落」398人
- ・死傷者数の増加した主な事故の型
「転倒」45人 (7.2%)、「墜落・転落」26人 (7.0%)、
「動作の反動・無理な動作」17人 (3.9%) 増加
- ・死傷者数の減少した主な事故の型
「激突され」21人 (16.7%) 減少

(2) **死亡者数** **16人** 前年比 **1人(5.9%)減少**

《前年と比較した主な特徴》

① 業種別

- ・死亡者数の多い業種
運輸交通業 6人 (前年 2人)、建設業 6人 (前年 9人)
- ・死亡者数の増加した業種
運輸交通業 6人 (前年 2人)
- ・死亡者数の減少した主な業種
建設業 6人 (前年 9人)

② 事故の型別

- ・死亡者数の多い事故の型
「墜落・転落」7人、「交通事故」4人

(次ページに続く)

2 令和7年 労働災害発生状況（令和7年3月末日現在（速報値））

※ 死亡者数については、本日時点で把握している人数を記載しています。

- (1) 死傷者数 434人 前年同期比 17人（4.1%）増加
(2) 死亡者数 2人 前年同期比 2人（50%）減少

《 前年同期と比較した主な特徴 》

・死亡者数は減少、死傷者数は増加

業種別では、

商業のうち小売業（29人→55人）、製造業（116人→134人）などで増加。

接客娯楽業（39人→25人）、建設業（41人→32人）などで減少。

3 労働災害の推移

群馬労働局管内の労働災害による死傷者数は、昭和54年の6,325人をピークに長期的には減少したものの、近年は2,000人台で増減を繰り返し、令和2年からは増加傾向となっています。

また、死亡者数は令和4年に過去最少の6人となりましたが、令和5年は17人と大幅に増加し令和6年も16人という状況です。

4 労働局の取組

群馬労働局では、労働災害の増加傾向に歯止めをかけ令和9年度までに減少傾向となるよう第14次労働災害防止計画に基づく推進計画（令和5年度～令和9年度）を策定し、労働災害が増加している中高年齢労働者を中心とした行動災害^{（※2）}の防止や、未熟練労働者等にかかる労働災害の防止などに重点を置きながら、労働災害防止対策を推進します。

（※1）「死傷者数」… 死亡及び休業4日以上死傷者数（新型コロナウイルス感染症を除く）

（※2）「行動災害」… 「転倒」、「動作の反動・無理な動作」など職場における労働者の作業行動に起因する労働災害

資料1 「群馬労働局管内における労働災害の推移」

資料2 「年別・事故の型別の労働災害発生件数」

資料3 「群馬労働局管内における労働災害発生状況」

資料4 「令和6年 労働者死傷病報告受理件数表」

資料5 「令和6年 死亡災害発生状況」

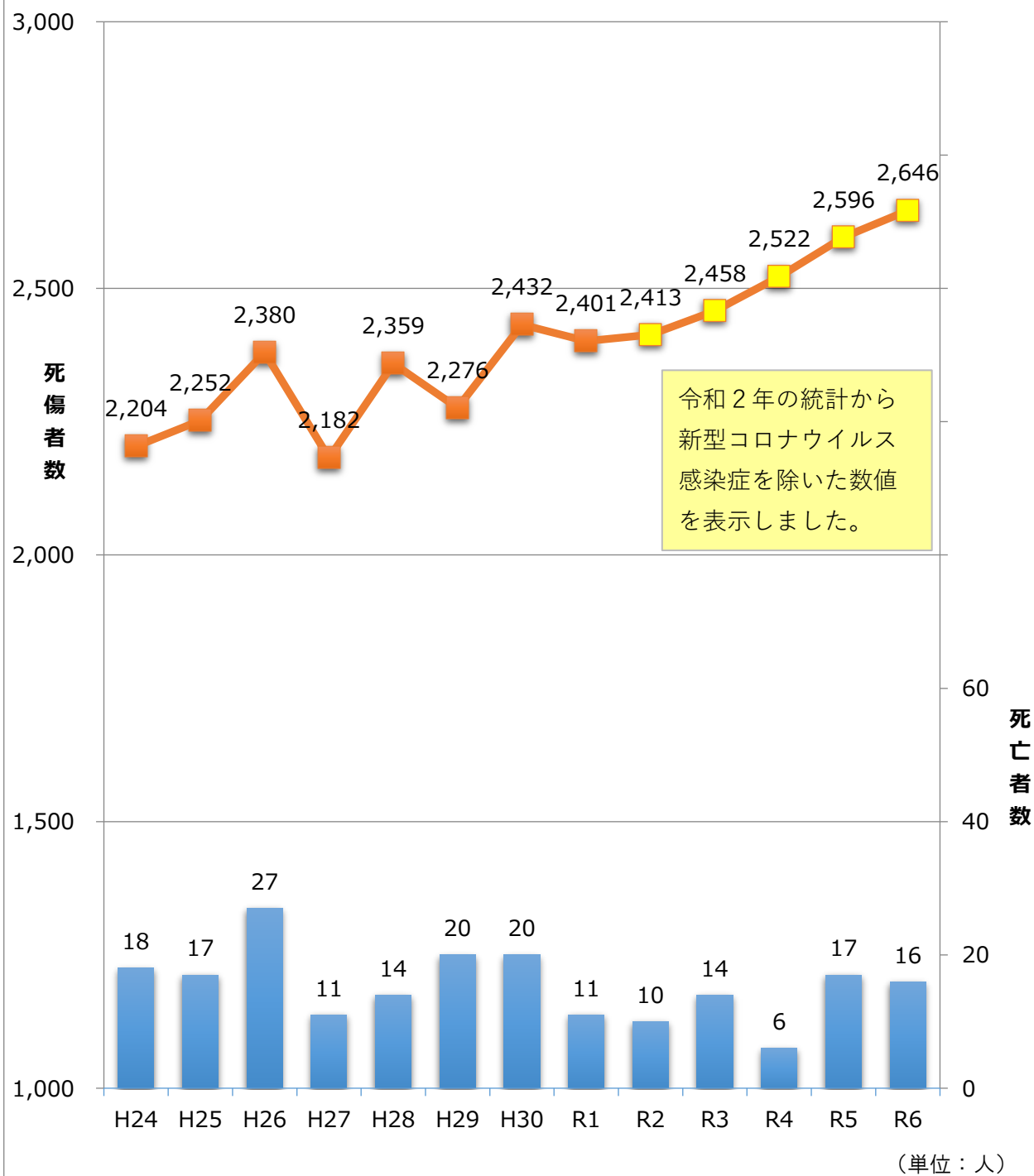
資料6 「令和7年 労働者死傷病報告受理件数表」

資料7 「令和7年 死亡災害事例」

資料8 「第14次労働災害防止計画に基づく群馬労働局推進計画の骨子」

群馬労働局管内における労働災害の推移

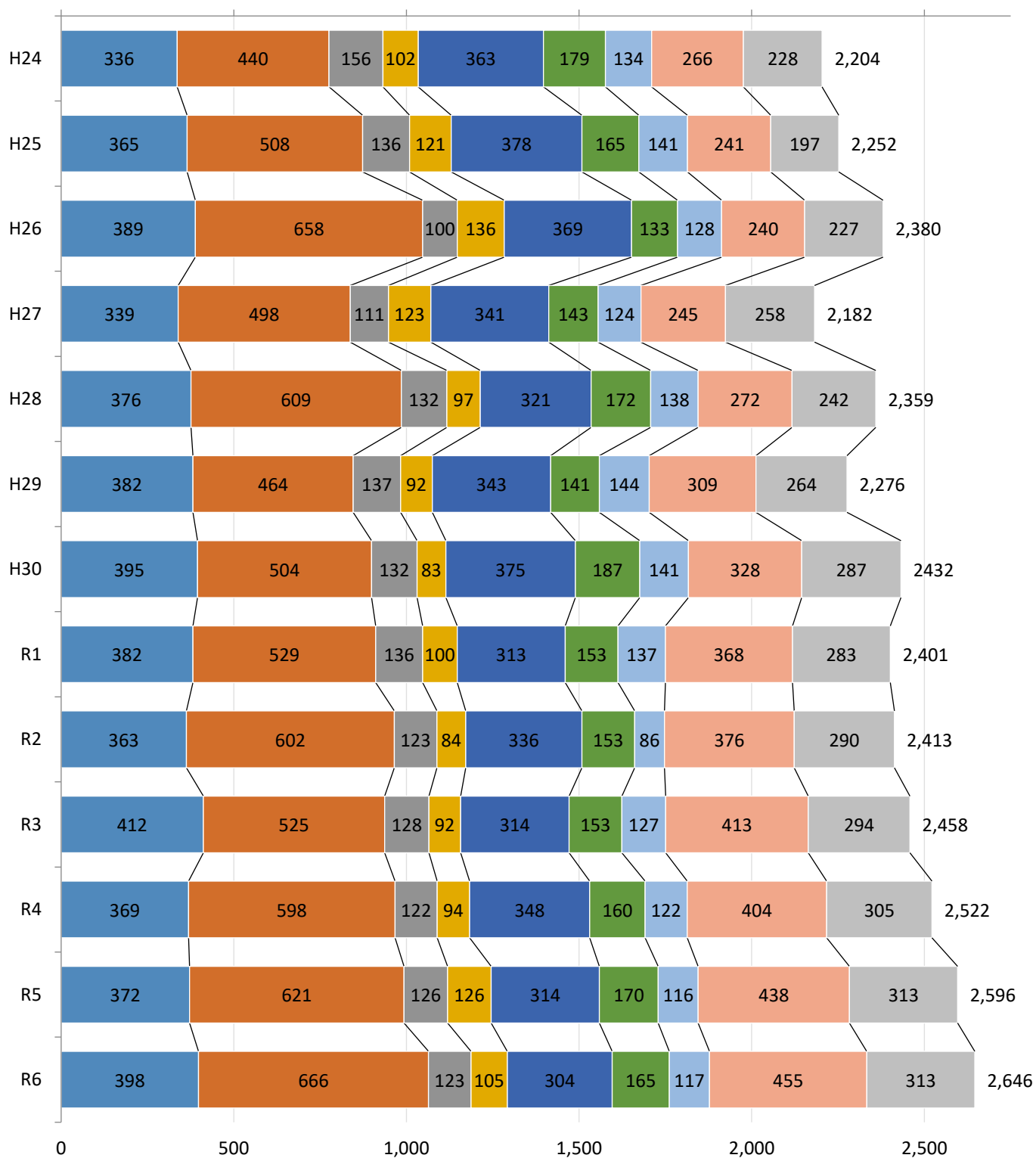
(新型コロナウイルス感染症を除く)



年別・事故の型別の労働災害発生件数

(新型コロナウイルス感染症を除く)

- 墜落・転落
- 転倒
- 飛来・落下
- 激突され
- はさまれ・巻き込まれ
- 切れ・こすれ
- 交通事故（道路）
- 動作の反動・無理な動作
- その他



群馬労働局管内における労働災害発生状況

(新型コロナウイルス感染症を除く)

(1) 業種別の状況

ア 死傷者数が多い業種

業種別	死傷者数	前年同期	増減	増減率	業種に占める割合	全産業に占める割合
製造業	788	774	14	1.8%	100.0%	29.8%
食料品	250	237	13	5.5%	31.7%	9.4%
金属製品	112	113	-1	-0.9%	14.2%	4.2%
輸送用機械等	113	98	15	15.3%	14.3%	4.3%
建設業	205	250	-45	-18.0%	100.0%	7.7%
土木工事	60	75	-15	-20.0%	29.3%	2.3%
建築工事	118	147	-29	-19.7%	57.6%	4.5%
その他の建設	27	28	-1	-3.6%	13.2%	1.0%
運輸交通業	358	322	36	11.2%	100.0%	13.5%
道路貨物運送	343	300	43	14.3%	95.8%	13.0%
商業	353	390	-37	-9.5%	100.0%	13.3%
小売業	275	309	-34	-11.0%	76.8%	10.4%
保健衛生業	315	321	-6	-1.9%	100.0%	11.9%
社会福祉施設	234	252	-18	-7.1%	74.3%	8.8%
接客娯楽業	187	134	53	39.6%	100.0%	7.1%
小売業	102	71	31	43.7%	54.5%	3.9%
その他	440	405	35	8.6%	100.0%	16.6%
合計	2,646	2,596	50	1.9%	100.0%	100.0%

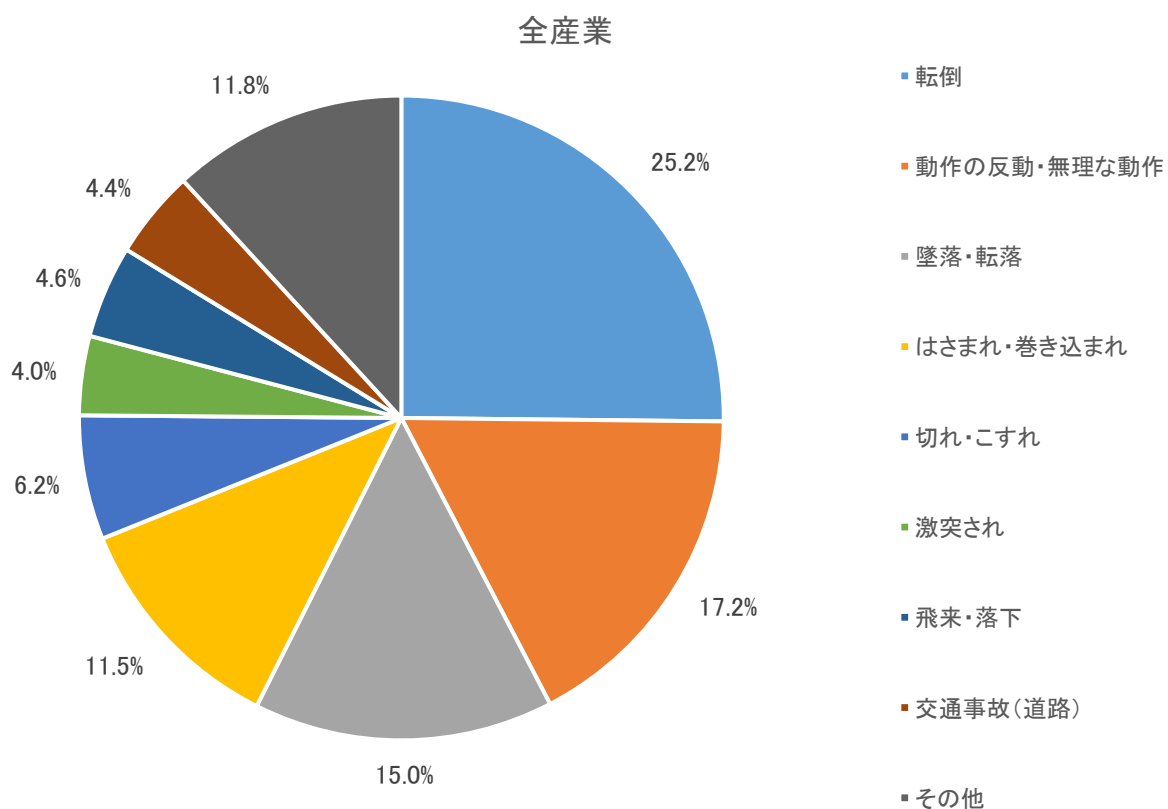
イ 死亡災害発生状況

業種	平成 30 年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
製造業	3	1	2	5	3	1	1
建設業	6		2	6	1	9	6
運輸交通業	3	5	2	1		2	6
農林業	3	1	1		1	1	
商業		3	2			2	1
保健衛生業	1						
接客娯楽業	1						1
その他	3	1	1	2	1	2	1
合計	20	11	10	14	6	17	16

(2)事故の型別の状況

ア 全産業

	転倒	動作の反動・無理な動作	墜落・転落	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	激突され	飛来・落下	交通事故(道路)	その他	合計
全産業	666	455	398	304	165	105	123	117	313	2,646
(内死亡)			(7)	(1)		(1)	(1)	(4)	(2)	(16)
割合	25.2%	17.2%	15.0%	11.5%	6.2%	4.0%	4.6%	4.4%	11.8%	100.0%
前年同期	621	438	372	314	170	126	126	116	313	2,596
前年増減数	45	17	26	-10	-5	-21	-3	1	0	50
前年比	7.2%	3.9%	7.0%	-3.2%	-2.9%	-16.7%	-2.4%	0.9%	0.0%	1.9%



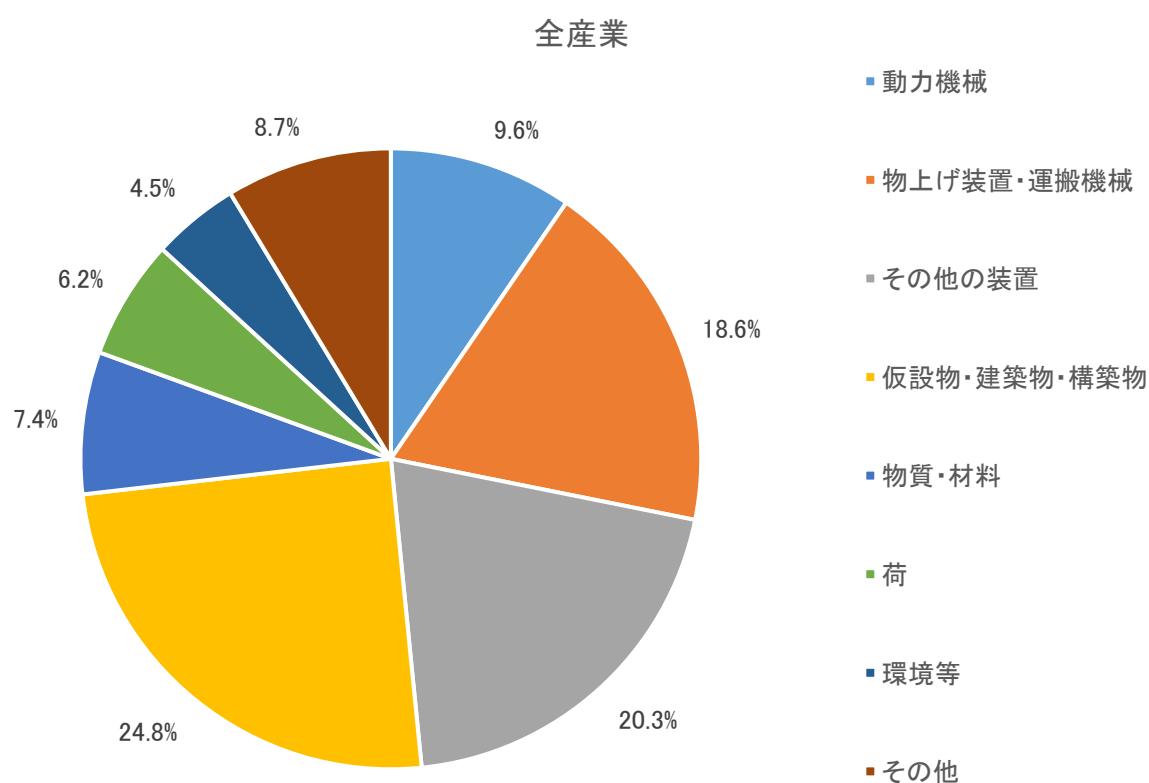
イ 死傷者数が多い業種

	転倒	無理な動作・動作の反動	墜落・転落	巻き込まれ・はさまれ	切れこすれ	激突され	飛来・落下	交通事故 (道路)	その他	合計
製造業	168	115	71	167	79	36	41	6	105	788
割合	21.3%	14.6%	9.0%	21.2%	10.0%	4.6%	5.2%	0.8%	13.3%	100.0%
前年	155	105	65	176	81	41	52	2	97	774
前年比	8.4%	9.5%	9.2%	-5.1%	-2.5%	-12.2%	-21.2%	200.0%	8.2%	1.8%
建設業	30	19	66	22	14	9	17	8	20	205
割合	14.6%	9.3%	32.2%	10.7%	6.8%	4.4%	8.3%	3.9%	9.8%	100.0%
前年	27	22	71	27	20	20	23	10	30	250
前年比	11.1%	-13.6%	-7.0%	-18.5%	-30.0%	-55.0%	-26.1%	-20.0%	-33.3%	-18.0%
運輸交通業	56	51	112	35	3	15	21	26	39	358
割合	15.6%	14.2%	31.3%	9.8%	0.8%	4.2%	5.9%	7.3%	10.9%	100.0%
前年	61	60	81	38	3	19	14	20	26	322
前年比	-8.2%	-15.0%	38.3%	-7.9%	0.0%	-21.1%	50.0%	30.0%	50.0%	11.2%
道路貨物	51	48	111	35	3	15	20	23	37	343
割合	14.9%	14.0%	32.4%	10.2%	0.9%	4.4%	5.8%	6.7%	10.8%	100.0%
前年	55	56	80	34	2	19	14	16	24	300
前年比	-7.3%	-14.3%	38.8%	2.9%	50.0%	-21.1%	42.9%	43.8%	54.2%	14.3%
商業	121	62	35	20	24	7	14	36	34	353
割合	34.3%	17.6%	9.9%	5.7%	6.8%	2.0%	4.0%	10.2%	9.6%	100.0%
前年	118	70	48	24	25	12	12	38	43	390
前年比	2.5%	-11.4%	-27.1%	-16.7%	-4.0%	-41.7%	16.7%	-5.3%	-19.0%	-9.5%
小売業	99	50	24	12	19	5	9	33	24	275
割合	36.0%	18.2%	8.7%	4.4%	6.9%	1.8%	3.3%	12.0%	8.7%	100.0%
前年	102	61	30	16	18	8	6	36	32	309
前年比	-2.9%	-18.0%	-20.0%	-25.0%	5.6%	-37.5%	50.0%	-8.3%	-25.0%	-11.0%
保健衛生業	105	122	16	7	5	6	5	6	43	315
割合	33.3%	38.7%	5.1%	2.2%	1.6%	1.9%	1.6%	1.9%	13.7%	100.0%
前年	113	102	21	7	5	13	4	7	49	321
前年比	-7.1%	19.6%	-23.8%	0.0%	0.0%	-53.8%	25.0%	-14.3%	-12.2%	-1.9%
社会福祉	76	87	14	6	5	5	2	6	33	234
割合	32.5%	37.2%	6.0%	2.6%	2.1%	2.1%	0.9%	2.6%	14.1%	100.0%
前年	81	83	14	6	4	13	2	6	43	252
前年比	-6.2%	4.8%	0.0%	0.0%	25.0%	-61.5%	0.0%	0.0%	-23.3%	-7.1%
接客娯楽業	66	29	15	6	21	4	3	4	39	187
割合	35.3%	15.5%	8.0%	3.2%	11.2%	2.1%	1.6%	2.1%	20.9%	100.0%
前年	41	18	15	3	16	3	5	8	25	134
前年比	61.0%	61.1%	0.0%	100.0%	31.3%	33.3%	-40.0%	-50.0%	56.0%	39.6%
飲食店	30	18	3	4	18		2	3	24	102
割合	29.4%	17.6%	2.9%	3.9%	17.6%	0.0%	2.0%	2.9%	23.5%	100.0%
前年	22	6	3	3	14		1	8	14	71
前年比	36.4%	200.0%	0.0%	33.3%	28.6%	#####	100.0%	-62.5%	71.4%	43.7%

(3) 起因物別の状況

ア 全産業

	動力機械	物上げ装置・ 運搬機械	その他の装置	仮設物・建築 物・構築物	物質・材料	荷	環境等	その他	合 計
全産業	253	492	536	655	196	165	120	229	2,646
(内死亡)	(2)	(7)	(2)	(4)		(1)			(16)
割合	9.6%	18.6%	20.3%	24.8%	7.4%	6.2%	4.5%	8.7%	100.0%
前年同期	269	452	544	650	177	180	96	228	2,596
前年増減数	-16	40	-8	5	19	-15	24	1	50
前年比	-5.9%	8.8%	-1.5%	0.8%	10.7%	-8.3%	25.0%	0.4%	1.9%



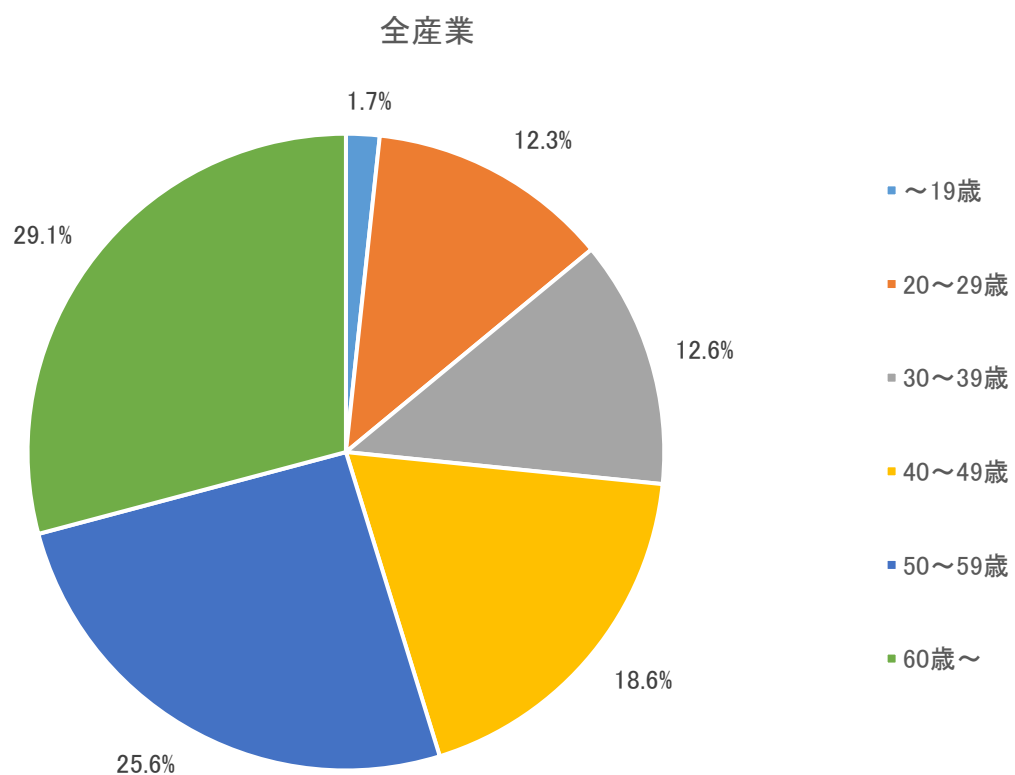
イ 死傷者が多い業種

	動力機械	物上げ装置・ 運搬機械	その他の装置	仮設物・建築 物・構築物	物質・材料	荷	環境等	その他	合計
製造業	167	87	198	163	95	44	15	19	788
割合	21.2%	11.0%	25.1%	20.7%	12.1%	5.6%	1.9%	2.4%	100.0%
前年	172	87	185	149	96	52	10	23	774
前年比	-2.9%	0.0%	7.0%	9.4%	-1.0%	-15.4%	50.0%	-17.4%	1.8%
建設業	26	42	38	53	25	6	13	2	205
割合	12.7%	20.5%	18.5%	25.9%	12.2%	2.9%	6.3%	1.0%	100.0%
前年	49	37	50	62	26	8	16	2	250
前年比	-46.9%	13.5%	-24.0%	-14.5%	-3.8%	-25.0%	-18.8%	0.0%	-18.0%
運輸交通業	3	167	62	65	18	31	7	5	358
割合	0.8%	46.6%	17.3%	18.2%	5.0%	8.7%	2.0%	1.4%	100.0%
前年		144	67	52	12	37	6	4	322
前年比	#####	16.4%	-7.5%	25.0%	50.0%	-16.2%	16.7%	25.0%	11.2%
道路貨物	2	163	61	57	17	31	7	5	343
割合	0.6%	47.5%	17.8%	16.6%	5.0%	9.0%	2.0%	1.5%	100.0%
前年		136	61	48	11	36	6	2	300
前年比	#####	19.9%	0.0%	18.8%	54.5%	-13.9%	16.7%	150.0%	14.3%
商業	11	70	82	97	21	46	9	17	353
割合	3.1%	19.8%	23.2%	27.5%	5.9%	13.0%	2.5%	4.8%	100.0%
前年	11	82	100	107	15	41	11	23	390
前年比	0.0%	-14.6%	-18.0%	-9.3%	40.0%	12.2%	-18.2%	-26.1%	-9.5%
小売業	5	53	72	77	14	36	6	12	275
割合	1.8%	19.3%	26.2%	28.0%	5.1%	13.1%	2.2%	4.4%	100.0%
前年	6	64	75	89	10	36	9	20	309
前年比	-16.7%	-17.2%	-4.0%	-13.5%	40.0%	0%	-33.3%	-40.0%	-11.0%
保健衛生業	6	10	37	90	2	12	6	152	315
割合	1.9%	3.2%	11.7%	28.6%	0.6%	3.8%	1.9%	48.3%	100.0%
前年	1	12	46	106	1	6	4	145	321
前年比	500.0%	-16.7%	-19.6%	-15.1%	100.0%	100.0%	50.0%	4.8%	-1.9%
社会福祉	4	9	25	67	1	6	4	118	234
割合	1.7%	3.8%	10.7%	28.6%	0.4%	2.6%	1.7%	50.4%	100.0%
前年	1	10	36	71	1	4	3	126	252
前年比	300.0%	-10.0%	-30.6%	-5.6%	0.0%	50.0%	33.3%	-6.3%	-7.1%
接客娯楽業	10	10	42	68	17	11	18	11	187
割合	5.3%	5.3%	22.5%	36.4%	9.1%	5.9%	9.6%	5.9%	100.0%
前年	9	14	26	45	10	13	9	8	134
前年比	11.1%	-28.6%	61.5%	51.1%	70.0%	-15.4%	100.0%	37.5%	39.6%
飲食店	5	4	31	30	14	7	7	4	102
割合	4.9%	3.9%	30.4%	29.4%	13.7%	6.9%	6.9%	3.9%	100.0%
前年	6	10	16	22	7	3	1	6	71
前年比	-16.7%	-60.0%	93.8%	36.4%	100.0%	133.3%	600.0%	-33.3%	43.7%

(4) 年齢別の状況

ア 全産業

	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳～	合 計
全産業	45	326	333	493	678	771	2,646
(内死亡)		(1)		(3)	(8)	(4)	(16)
割 合	1.7%	12.3%	12.6%	18.6%	25.6%	29.1%	100.0%
前年同期	32	333	299	485	687	760	2,596
前年増減数	13	-7	34	8	-9	11	-50
前年比	40.6%	-2.1%	11.4%	1.7%	-1.3%	1.5%	1.9%



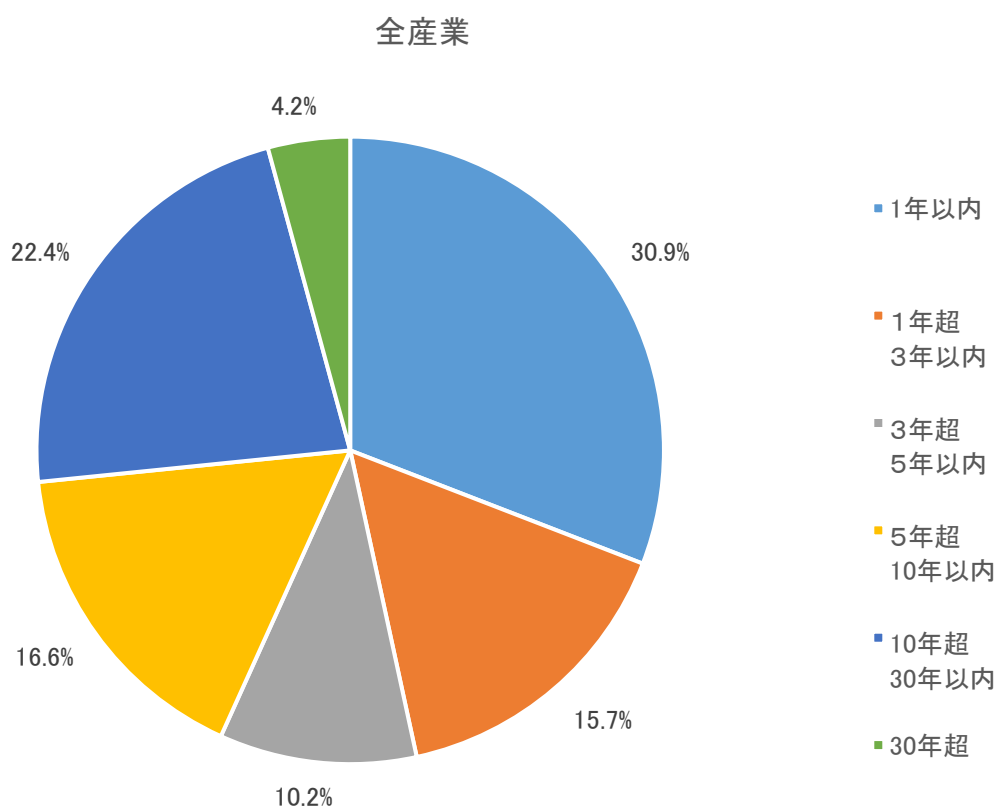
イ 死傷者が多い業種

	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	合 計
製造業	13	129	116	153	186	138	53	788
割合	1.6%	16.4%	14.7%	19.4%	23.6%	17.5%	6.7%	100.0%
前年	7	127	123	164	180	121	52	774
前年比	85.7%	1.6%	-5.7%	-6.7%	3.3%	14.0%	1.9%	1.8%
建設業	3	34	40	38	44	34	12	205
割合	1.5%	16.6%	19.5%	18.5%	21.5%	16.6%	5.9%	100.0%
前年	4	47	41	50	54	42	12	250
前年比	-25.0%	-27.7%	-2.4%	-24.0%	-18.5%	-19.0%	0.0%	-18.0%
運輸交通業	2	23	36	94	129	63	11	358
割合	0.6%	6.4%	10.1%	26.3%	36.0%	17.6%	3.1%	100.0%
前年	2	22	23	68	118	72	17	322
前年比	0.0%	4.5%	56.5%	38.2%	9.3%	-12.5%	-35.3%	11.2%
道路貨物	2	21	35	87	127	61	10	343
割合	0.6%	6.1%	10.2%	25.4%	37.0%	17.8%	2.9%	100.0%
前年	2	19	23	61	116	65	14	300
前年比	0.0%	10.5%	52.2%	42.6%	9.5%	-6.2%	-28.6%	14.3%
商業	4	39	30	54	99	89	38	353
割合	1.1%	11.0%	8.5%	15.3%	28.0%	25.2%	10.8%	100.0%
前年	7	39	40	72	107	94	31	390
前年比	-42.9%	0.0%	-25.0%	-25.0%	-7.5%	-5.3%	22.6%	-9.5%
小売業	4	31	22	41	72	73	32	275
割合	1.5%	11.3%	8.0%	14.9%	26.2%	26.5%	11.6%	100.0%
前年	5	34	26	54	86	75	29	309
前年比	-20.0%	-8.8%	-15.4%	-24.1%	-16.3%	-2.7%	10.3%	-11.0%
保健衛生業	3	25	29	64	88	75	31	315
割合	1.0%	7.9%	9.2%	20.3%	27.9%	23.8%	9.8%	100.0%
前年	1	26	26	60	95	72	41	321
前年比	200.0%	-3.8%	11.5%	6.7%	-7.4%	4.2%	-24.4%	-1.9%
社会福祉	3	15	22	48	67	53	26	234
割合	1.3%	6.4%	9.4%	20.5%	28.6%	22.6%	11.1%	100.0%
前年	1	19	17	49	76	55	35	252
前年比	200.0%	-21.1%	29.4%	-2.0%	-11.8%	-3.6%	-25.7%	-7.1%
接客娯楽業	18	30	15	22	32	42	28	187
割合	9.6%	16.0%	8.0%	11.8%	17.1%	22.5%	15.0%	100.0%
前年	10	24	5	19	32	28	16	134
前年比	80.0%	25.0%	200.0%	15.8%	0.0%	50.0%	75.0%	39.6%
飲食店	16	20	10	14	12	16	14	102
割合	15.7%	19.6%	9.8%	13.7%	11.8%	15.7%	13.7%	100.0%
前年	9	13	3	14	18	9	5	71
前年比	77.8%	53.8%	233.3%	0.0%	-33.3%	77.8%	180.0%	43.7%

(5) 経験年数別の状況

ア 全産業

	1 年以内	1 年超 3 年以内	3 年超 5 年以内	5 年超 10 年以内	10 年超 30 年以内	30 年超	合 計
全産業	817	416	269	440	592	112	2,646
(内死亡)	(1)	(2)	(2)	(4)	(5)	(2)	(16)
割 合	30.9%	15.7%	10.2%	16.6%	22.4%	4.2%	100.0%
前年同期	587	496	287	458	641	127	2,596
前年増減数	230	-80	-18	-18	-49	-15	50
前年比	39.2%	-16.1%	-6.3%	-3.9%	-7.6%	-11.8%	1.9%



イ 死傷者が多い業種

	1 年以内	1 年超 3 年以内	3 年超 5 年以内	5 年超 10 年以内	10 年超 30 年以内	30 年超	合計
製造業	284	138	67	114	154	31	788
割合	36.0%	17.5%	8.5%	14.5%	19.5%	3.9%	100.0%
前年	217	146	83	140	150	38	774
前年比	30.9%	-5.5%	-19.3%	-18.6%	2.7%	-18.4%	1.8%
建設業	41	30	17	31	69	17	205
割合	20.0%	14.6%	8.3%	15.1%	33.7%	8.3%	100.0%
前年	32	42	19	45	83	29	250
前年比	28.1%	-28.6%	-10.5%	-31.1%	-16.9%	-41.4%	-18.0%
運輸交通業	87	49	49	69	88	16	358
割合	24.3%	13.7%	13.7%	19.3%	24.6%	4.5%	100.0%
前年	67	51	34	60	89	21	322
前年比	29.9%	-3.9%	44.1%	15.0%	-1.1%	-23.8%	11.2%
道路貨物	81	48	48	66	84	16	343
割合	23.6%	14.0%	14.0%	19.2%	24.5%	4.7%	100.0%
前年	64	49	31	58	80	18	300
前年比	26.6%	-2.0%	54.8%	13.8%	5.0%	-11.1%	14.3%
商業	98	51	45	58	89	12	353
割合	27.8%	14.4%	12.7%	16.4%	25.2%	3.4%	100.0%
前年	79	88	48	58	103	14	390
前年比	24.1%	-42.0%	-6.3%	0.0%	-13.6%	-14.3%	-9.5%
小売業	78	35	33	46	75	8	275
割合	28.4%	12.7%	12.0%	16.7%	27.3%	2.9%	100.0%
前年	51	74	41	48	84	11	309
前年比	52.9%	-52.7%	-19.5%	-4.2%	-10.7%	-27.3%	-11.0%
保健衛生業	91	38	32	63	77	14	315
割合	28.9%	12.1%	10.2%	20.0%	24.4%	4.4%	100.0%
前年	58	55	42	67	92	7	321
前年比	56.9%	-30.9%	-23.8%	-6.0%	-16.3%	100.0%	-1.9%
社会福祉	73	32	23	44	56	6	234
割合	31.2%	13.7%	9.8%	18.8%	23.9%	2.6%	100.0%
前年	46	46	35	52	69	4	252
前年比	58.7%	-30.4%	-34.3%	-15.4%	-18.8%	50.0%	-7.1%
接客娯楽業	76	27	16	28	34	6	187
割合	40.6%	14.4%	8.6%	15.0%	18.2%	3.2%	100.0%
前年	52	21	14	17	26	4	134
前年比	46.2%	28.6%	14.3%	64.7%	30.8%	50.0%	39.6%
飲食店	45	13	11	18	13	2	102
割合	44.1%	12.7%	10.8%	17.6%	12.7%	2.0%	100.0%
前年	33	11	8	5	13	1	71
前年比	36.4%	18.2%	37.5%	260.0%	0.0%	100.0%	43.7%

令和6年 労働者死傷病報告受理件数表

資料4

令和7年3月末確定
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製 造 業		151	277	56	1 231	27	39	7	1 788	1 774	14
	食 料 品 製 造 業	66	103	19	45	8	8	1	250	237	13
建 設 業		2 55	68	1 12	37	10	2 7	1 16	6 205	9 250	-3 -45
	木 造 家 屋 等 建 築 工 事 業	7	17	1	4	1	1	3	1 34	1 40	1 -6
運 輸 交 通 業		51	2 169	3 12	107	1 6	10	3	6 358	2 322	4 36
	道 路 貨 物 運 送 業	46	2 163	3 11	105	1 5	10	3	6 343	2 300	4 43
林 業		1	1	6		2	2	2	14	1 26	-1 -12
小 売 業		50	133	19	42	1 16	8	7	1 275	1 309	-34
社会福祉施設		66	94	20	30	9	11	4	234	252	-18
接 客 娛 楽 業		35	55	8	33	22	1 6	28	1 187		1 53
	飲 食 店	27	31	7	28	4	2	3	102	71	31
上記以外の事業		1 120	230	33	129	33	16	24	1 585	3 529	-2 56
	清 掃 ・ と 畜 業	1 16	45	10	24	5	1	8	1 109	1 101	
計		3 529	2 1027	1 166	4 609	2 125	3 99	1 91	16 2,646	17 2,596	-1 50
前 年 同 期		5 523	4 971	3 189	2 616		2 109	1 80	17 2,596		
増 減		-2 6	-2 56	-2 -23	2 -7	2 17	1 -10		-1 50		

災害の種類別

災害の種類別・署別		高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
事故の 型別	墜落・転落	1 69	1 179	1 19	1 87	18	2 15	1 11	7 398	5 372	2 26
	転倒	142	249	50	134	40	21	30	666	1 621	-1 45
	はさまれ・ 巻き込まれ	1 66	110	19	71	13	15	10	1 304	1 314	-10
	切れ・こすれ	29	74	11	36	6	6	3	165	170	-5
	動作の反動・ 無理な動作	97	169	28	109	16	23	13	455	438	17
起因物 別	建設機械等	1 6	2	1	4			3	1 16	2 33	-1 -17
	食品加工用機械	4	25	2	6				37	33	4
	トラック	45	1 87	7	2 60	1 8	4	1 5	5 216	3 186	2 30
外国人の災害		35	94	11	81	7	6	8	242	2 225	-2 17
建設公共工事の災害		11	6	3	5	5	2	1 6	1 38	5 41	-4 -3

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。
- 注2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
- 注3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。
- 注4 新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの。

令和6年 死亡災害事例

資料5

令和7年3月末現在
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 15時頃 10～29人	50歳代 管理者	三脚脚立を使用して敷地内の立木の剪定作業をしていたところ、脚立より墜落した。	火葬業	墜落、転落	はしご等
2	2月 14時頃 1～9人	50歳代 作業員	民地の整地等を行うため、生活道路の橋（橋長8m×幅員3.4m）をドラグショベルを運転して渡っていたところ、床版が崩落し、ドラグショベルとともに3.9m下の沢に墜落した。	土地整理土木 工事業	墜落、転落	建築物、 構築物
3	2月 17時頃 300人～	60歳代 作業員	天井クレーンを使用して金型を置き場へ移動する作業中、玉掛用具のベルトスリングを外したものの、スリングの1本が金型に掛かった状態だったため、1点吊りとなり金型がずれて胸部をはさまれた。	自動車・同付 属品 製造業	激突され	クレーン
4	3月 6時頃 30～49人	60歳代 配達員	会社所有のバイクを運転して新聞配達中、直線道路で転倒して、頭部を強打した。	新聞販売業	交通事故	乗用車、バ ス、バイク
5	4月 14時頃 30～49人	50歳代 運転者	配送先の養鶏場において、飼料タンクに飼料を補充する作業を行っていたところ、飼料タンクの上部から約8m下の地面に墜落した。	道路貨物 運送業	墜落、転落	建築物、 構築物
6	4月 14時頃 1～9人	50歳代 作業員	くさび緊結式足場の5層目で建屋の外壁塗装を行っていたところ、足場4層目に落下し、更に足場側面に張ってあったメッシュシートを突き抜けて7.6m下の地面に落下した。	鉄骨・鉄筋コ ンクリート 造家屋 建築工事業	墜落、転落	足場
7	6月 2時頃 10～29人	50歳代 運転者	大型トラックを運転して国道を走行中、右カーブに差し掛かったところで、対向車の大型トラックがセンターラインをはみ出して正面衝突した。	道路貨物 運送業	交通事故	トラック
8	6月 4時頃 1～9人	50歳代 運転者	トラックを運転して国道を走行中、中央分離帯上の橋脚に激突した。	道路貨物 運送業	交通事故	トラック
9	6月 7時頃 10～29人	40歳代 運転者	木材チップを積載したトレーラーを運転して国道を走行中、下りカーブで車線を逸脱し横転した。	道路貨物 運送業	交通事故	トラック
10	7月 9時頃 10～29人	40歳代 運転者	中型トラックで荷を納品するため、荷主先でトラックのあおりを下げたところ、キャスターの付いた荷（約800kg）が動いて落下し、その下敷きとなった。	道路貨物 運送業	激突され	荷姿の物

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年 齢 職 種	災 害 の あ ら ま し	業 種	事故の型別	起因物別
11	7 月 17時頃 30～49人	50歳代 作業者	グリーンを整備する作業機械（三輪自動車）に乗車していたところ、幅約 2 m のカート道から外れて約 6 m 滑落した。	ゴルフ場	墜落、転落	その他の一般動力機械
12	8 月 10時頃 1～9人	20歳代 作業者	蓄電池から変圧器への通電確認のため、配線作業を行っていたところ、変圧器内にある鉄製の板に左ひじが接触し感電した。	電気設備 工事業	感電	電力設備
13	10月 15時頃 10～29人	40歳代 作業者	解体工事において、車両系建設機械を運転し、階段を下っていたところ、運転席と建築物（下がり壁）との間に身体を挟まれた。	鉄骨・鉄筋コンクリート 造家屋 建築工事業	はさまれ、 巻き込まれ	解体用機械
14	10月 14時頃 1～9人	50歳代 運転者	荷主先において、鋼材を積んだトラックの荷台上でシート掛け作業を行っていたところ墜落した。	道路貨物 運送業	墜落、転落	トラック
15	10月 9時頃 30～49人	60歳代 作業者	車両積載形トラッククレーンの荷台上で荷積み作業を行っていたところ、当該トラッククレーンが斜面上を逸走し、約 4 m 下の地面へ墜落した。	砂防工事業	墜落、転落	トラック
16	11月 12時頃 1～9人	60歳代 作業者	物置小屋の解体工事において、バールを使用し壁材の解体を行っていたところ、物置小屋の屋根が落下して下敷きとなった。	木造家屋 建築工事業	崩壊、倒壊	屋根、はり、 もや、けた、 合掌

注)記述内容は上記期日時点の情報を取りまとめたものであり、今後、変更になる可能性があります。

令和7年 労働者死傷病報告受理件数表

資料6

令和7年3月末現在
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製 造 業		21	55	8	38	5	7		134	116	-18
食料品製造業		6	20	2	10		4		42	38	4
建 設 業		10	11		8	2		1	32	41	-9
木造家屋等建築工事業		1	1						2	5	-3
運 輸 交 通 業		6	34		19	3	1		63	68	-5
道路貨物運送業		4	34		18	2	1		59	65	-6
林 業				1		1			2	2	
小 売 業		13	26	4	5	5	1	1	55	29	26
社会福祉施設		10	7	3	4		1		25	31	-6
接客娯楽業		2	3		2	12		6	25	39	-14
飲 食 店		1	1		1	3		2	8	13	-5
上記以外の事業		18	49	6	12	5	4	4	98	91	7
清掃・と畜業		3	9	2	2				16	14	2
計		80	185	22	88	33	14	12	434	417	17
前 年 同 期		85	156	21	94	27	12	22	417		
増 減		-5	29	1	-6	6	2	-10	17		

災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
事故の型別										
墜落・転落	9	33	2	15	5		1	65	71	-6
転 倒	25	55	6	28	16	6	7	143	118	25
はさまれ・巻き込まれ	13	22	3	11	3	3		55	41	14
切れ・こすれ	1	12	1	9	1	1		25	20	5
動作の反動・無理な動作	8	24	3	10	1	2	1	49	61	-12
起因物別										
建設機械等	1	3		3				7	2	5
食品加工用機械									8	-8
ト ラ ッ ク	3	17		12			1	33	34	-1
外国人の災害	6	13	2	18	1			40	39	1
建設公共工事の災害	1	3		3	1		1	9	7	2

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上の労働者死傷病報告を集計しています。
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。
 4 新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの。

令和 7 年 死亡災害事例

資料 7

令和 7 年 3 月 末 現 在
群 馬 労 働 局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年 齢 職 種	災 害 の あ ら ま し	業 種	事故の型別	起因物別
1	1 月 11時頃 30～49人	60歳代 警備員	市道沿いの工事現場で交通誘導を行っていたところ、走行してきた軽乗用車にはねられた。	警備業	交通事故	乗用車・バス・バイク
2	2 月 13時頃 1～9人	40歳代 作業員	かかり木となっていた胸高直径35cm、樹高18mの檜の木を処理するため、かかられている桜の木をチェーンソーで伐倒したところ、檜の木が予定とは異なった方向に倒れ、下敷きになった。	木材伐出業	激突され	立木等

注)記述内容は上記期日時点の情報を取りまとめたものであり、今後、変更になる可能性があります。

第14次労働災害防止計画に基づく 群馬労働局推進計画の骨子

令和5年(2023年)4月1日▶令和10年(2028年)3月31日

資料 8

計画のねらい

労働者の安全衛生対策は事業者の責務であることが前提であるが、さらに「費用としての
人件費から、資産としての人的投資」への変革の促進が掲げられ、事業者の経営戦略の観点
からもその重要性が増してきており、労働者の安全衛生対策が人材確保の観点からもプラス
になることが知られ始めている。

こうした中で、労働者の安全衛生対策に積極的に取り組む事業者が社会的に評価される環
境を醸成し、安全と健康の確保の更なる促進を図ることが望まれる。

8つの重点対策

5 個人事業者等に対する 安全衛生対策の推進

6 業種別の 労働災害防止対策の 推進

陸上貨物運送事業／建設業／
製造業／林業

7 労働者の 健康確保対策の推進

メンタルヘルス／過重労働／産業保健活動

8 化学物質等による 健康障害防止対策の 推進

化学物質／石綿／粉じん／熱中症／
騒音／電離放射線

1 自発的に 安全衛生対策に 取り組むための 意識啓発

2 労働者の 作業行動に起因する 労働災害防止対策の 推進

3 高年齢労働者の 労働災害防止対策の 推進

4 多様な働き方への 対応や 外国人労働者等の 労働災害防止対策の 推進